

〔国際会議発表〕

発表研究者	静岡理科大学 総合情報学部 講師 松田 健	2042119
参加会議	International Conference on Systems, Man, and Cybernetics	
出張期間	2014 年 10 月 4 日～10 月 8 日	
開催場所	サンディエゴ アメリカ	
発表論文	SQL Injection Attack Detection Method using the Approximation Function of Zeta Distribution	

概 要：

国際会議 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics では名前の通り、システムと人、サイバネティクスに関する研究発表が行われる。サイバネティクスとは通信と制御に関する工学を融合させた分野のことをいい、アメリカの数学者ノーバート・ウィーナー博士によって提唱されたものである。したがって、本国際会議では人間と機械の調和を目指す研究が多数発表されている。本研究発表では、SQL インジェクション攻撃という Web アプリケーションがもつデータベースに不正に侵入する攻撃を自動検出する方法を提案したのでそれについて紹介した。SQL インジェクション攻撃については、攻撃から Web アプリケーションを防御するための有効的な技術が確立されているものの、いまなお代表的なサイバー攻撃となっている。この攻撃に関する対策は Web アプリケーションの開発時に重要であるが、対策が十分に行われずに開発されたり、それでも対応が困難なケースが生じたりすることもあるため、本研究のようなこの攻撃から汎用的かつ未知の攻撃に対処しながら Web アプリケーションを防御する仕組みが必要であり、このことについて発表したことが当国際会議に参加した目的と意義である。本発表により、発表セッションの参加者と SQL インジェクション攻撃のデータに関する貴重な議論を行うことができた。本研究は、SQL インジェクション攻撃を検出するアルゴリズムを提案したものであり、今後は、提案手法を実装した攻撃検出のためのソフトウェアの開発を行うことが課題となる。本国際会議に参加することで、SQL インジェクション攻撃に関する有識者と議論は、今後の課題を進める上で重要なヒントとなったことが本国際会議に参加することで得られた成果である。